



# なばり

2018年(平成30年) 7月10日号

主な内容

- ②……平成30年度予算・3大政策の主な事業
- ③……平成30年度名張市職員採用試験(看護師等)
- ④～⑤……夏のイベント
- ⑧……看護専門学校オープンキャンパス

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

地域共生社会のさらなる進化発展を目指して

## 平成30年度 施政方針

6月8日から26日まで開会された第380回定例会の冒頭で、今後、市が目指すまちづくりや政策についての考え方を示す平成30年度施政方針を亀井市長が述べました。今号では、その一部をご紹介します。

※施政方針の全文は市ホームページに掲載。今年度は4月が市長の改選時期だったため、第380回定例会にて市長が施政方針を述べました。

☎ 総合企画政策室 ☎ 63-7389

### 市政推進の原動力としての3大政策

今、我が国は、少子化による急速な人口減少と高齢化という未曾有の危機に直面しています。高齢化と人口減少社会の到来に立ち向かうには、市民の皆様や地域、団体の皆様らが主体となつて、互いに助け合い、共に生きる社会を目指す「地域共生社会」の構築こそが必要です。

地域を活性化させ、名張を持続あるものにするに信じ、これまで私は、それぞれの地域の実情に応じた自主・自立による個性あるまちづくりの取り組みに対する支援を全国に先駆け取り組んでまいりました。本市は、その先進自治体として全国的に注目されるまでに至っております。

平成30年3月、国の関係機関から日本の地域別将来推計人口が公表されました。本市の将来人口は5年前に公表された推計値に対して1000人、1300人規模で上方修正がなされました。

近年、若年層の皆さんが名張で子育て、教育をという事で転入いただいております。平成25年以降、15歳未満人口の転入が転出を上回る傾向が続いています。このことは、名張版ネウボラをはじめとする妊娠・出産・子育てに関する支援のほか、小児救急医療センターの開設や教育環境整備などの

取り組みの成果だと考えております。

この流れを確かなものにさせるべく、「元気創造」「若者定住」「生涯現役」の3大政策を市政推進の原動力として、各種施策や事業を推進してまいります。

### 全職員が一丸となり 全力を尽くす

また、3大政策を推進するとともに、昨年の台風第21号で被災した東山墓園の復旧につきましては、4月より体制を強化し、関係の皆様のご理解とご協力を賜りながら、早期復旧に向けて全力で取り組んでまいります。

財政面につきましては、扶助費の増加や老朽化する公共施設などの維持・更新に係る費用の増加など、今後も厳しい財政状況が続くことが予想されますが、国などの財源を最大限に活用し、持続可能な市政の確立に向けて、引き続き行財政改革に努めます。

全職員が一丸となり市民の負託にお応えできるよう全力を尽くす覚悟でございますので、ご支援、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。



名張市長 亀井 利克

平成30年度予算や主な事業については2ページに掲載しています

## 市政推進の原動力「3大政策」

### 元気創造プロジェクト



新たな産業や雇用の創出により、地位経済の活性化を目指した取り組みを推進するとともに、市民とひとつになって名張の元気と活力を全国に積極的に発信し、「人や企業から選ばれる、活気に満ちたまち」の実現に取り組みます。

### 若者定住プロジェクト



若い世代が安心して働き、結婚・妊娠・出産・子育て・教育がしやすい環境の整備を進め、「若者が住んでみたい、愛着を抱きいつまでも住み続けたいと感じるまち」の実現に取り組みます。

### 生涯現役プロジェクト



健康寿命の延伸に向けて、一生涯を通じた切れ目ない健康づくりの推進を図り、「いつまでも健康で生きがいをもって、地域社会の担い手として活躍できる生涯現役のまち」の実現に向けて取り組みます。